



2月5日に降り始めた雪が予想よりも深く積もり、翌6日、甲府市の小中学校は2時間遅れの登校になりました。保護者の皆様には時間変更にご協力いただきありがとうございます。ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。職員は早朝から除雪作業に取り組み、どうにか児童の登校に間に合わせることができました。

6日のお昼には雪が降り止んだので、お昼休みから校庭で雪遊びを楽しむことができました。時間に余裕を持ってお昼休みを終え、5校時の授業を落ち着いて始めることができました。



授業参観・学年学級総会へのご参加に感謝いたします

2月13・15・16日に各学年・学級の授業参観と総会が行われました。これまで、授業参観は感染症対策のため、1時限の授業を前後半に分け、少人数での参観をお願いして参りました。未だ感染症のリスクは心配されるレベルにありますが、各自での感染防止対策をお願いする中で、1時限全体を参観していただく設定に戻しました。

特別支援学級は、算数の授業を参観していただきました。1年生は、この1年間でできるようになったことを発表しました。2年生は、学校生活で楽しかったことを発表しました。3年生は、わたしたちの学校自慢を発表しました。4年生は、将来の夢や合唱を発表しました。5年生は、音楽や国語の学習でプログラミングの学習等を見ていただきました。6年生は、小学校の6年間で振り返る発表と、おうちの方への感謝の気持ちを表しました。

それぞれの学年・学級で1年間の成長の様子をご覧いただけたことと思います。



「ありがとうの木」が満開です

暖冬とは言え、校庭の木々の芽はまだ固く閉じています。でも、児童玄関にある「ありがとうの木」は満開です。満開の花を覗いてみましょう。

ありがとうを感じる優しい心

「ありがとうの木」は、児童会の取り組みです。児童が日常の生活の中で感じた「ありがとう」を花の形のメッセージカードに書き、児童会の役員に貼ってもらいます。

友だちに対する「ありがとう」がたくさん見られます。友だちに対して「いつも話してくれてありがとう。」「一緒に遊んでくれてありがとう。」「勉強を教えてくれてありがとう。」と感謝しています。

先生に対して「勉強を教えてくれてありがとう。」「優しくしてくれてありがとう。」がありました。おうちの人に対しては「いつも送ってくれてありがとう。」「働いてくれてありがとう



う。」、地域の皆様に対しては、「いつも見守ってくれてありがとう。」、給食室の職員に対しては、「いつも美味しい給食をありがとう。」と書かれていました。中には、学校のプールに対して「夏にぼくたちの安全を守ってくれてありがとう。」と書かれているお花もありました。

誰かの行いに対して感謝の目を向けることができるのは素晴らしいことだと思います。同じ行いでも批判的な目でばかり見ていたら、学校は殺伐としたつまらない場所になってしまいます。人の行いに対して「ありがとう」を感じることでできる優しい心を大切にしていきたいと思います。

先日、昼休みに校庭を歩いていると、縄跳びの練習を頑張っている児童を見かけました。交差飛びに一生懸命挑戦している児童に「上手だね。」と声をかけると、その児童は笑顔で元気よく「ありがとうございます！」と返してきました。私の何気ない声掛けに対して、「ありがとうございます」という感謝の言葉が返ってきたことに、ちょっと驚きましたが、とても良い気分になりました。

相川小学校では、これからも、他の人に対して感謝することのできる優しい心を大切にしていきたいです。

大谷翔平選手からのグローブ

大谷翔平選手からプレゼントされたグローブの使い方を児童会がまとめてくれました。

各学級で順番に2日間使うことができます。休み時間などに、約束で決められた「野球ボールコーナー」で使うことができます。取り合いをせずに、譲り合って使うルールになっています。

卒業が近い6年生からグローブを使い始めました。時間はかかるかもしれませんが、やがて全校の児童が使用することができるでしょう。

児童会の皆さん、ありがとうございました。



文責：校長 桐山 賢一